

ルワンダ月報（2023年2月）

※以下は、明示的に記載されたものを除き、ルワンダ通信局（Rwanda News Agency）の記事のとりまとめ。

1. 内政・外政

- 2日、カガメ大統領は、第2回アフリカのインフラ開発のためのダカール資金調達サミットに参加。
- 2日、ビルタ外務大臣はシャーマン米国務副長官とワシントンで会談し、DRC情勢について議論した。
- 4日、カガメ大統領は、ブルンジにて開催される第20回東アフリカ共同体（EAC）首脳臨時サミットに出席。
- 10日、ビルタ外務大臣は、ルクセンブルクのファヨ開発協力・人道問題担当大臣と電話会談を行い、金融、貿易、投資を含む様々な分野での二国間協力について協議。
- 11日、ンガビツィンゼ貿易産業大臣は、ボツワナでの第11回アフリカ大陸自由貿易地域（AfCFTA）貿易担当閣僚会議に出席。
- 13日、ンギレンテ首相は、ドバイでの第9回世界政府サミットに出席。
- 14日、ンギレンテ首相は、アラブ首長国連邦（UAE）のナヒヤーン副首相兼内相とMOUを調印。ルワンダとアラブ首長国連邦の繁栄のために、優れた統治とより良いサービス提供を共有するものとなる。
- 15日、ビルタ外務大臣は、ガーナとの共同常設委員会の設立に関するMOUに署名。
- 15日、ルワンダ国防省は、コンゴ民主共和国軍が両国境の無人地帯に侵入し、ルワンダ国境ポストに向けて発砲したと非難。
- 15日、ンギレンテ首相は、ドバイで開催されている第9回世界政府サミットの傍ら、IMF（国際通貨基金）ゲオルギエヴァ専務理事と会談。
- 15日、欧州連合（EU）は、地域和平イニシアチブの提案を無視しているとして、ルワンダとコンゴ民主共和国を再び非難。（The East African）
- 16日、カガメ大統領はアディスアベバでのアフリカ連合首脳会議第36回通常総会に参加。
- 16日、ンダギジマナ財務・経済計画大臣は、スイス開発協力庁のサンティス地域ディレクターと、ガバナンス、TVET、金融、貿易、投資に焦点を当てたスイスとルワンダの協力強化について協議。
- 17日、ンダギジマナ財務・経済計画大臣は、福島新駐ルワンダ日本大使と新JICAルワンダ所長を迎え、保健、教育、運輸などの分野における二

国間協力の拡大について協議。

- 17日、カガメ大統領は、エチオピアでグテーレス国連事務総長と会談し、地域の安全保障と国連とルワンダのパートナーシップに関して協議。
- 17日（RNA） - カガメ大統領は、エチオピアで東アフリカ共同体（EAC）の首脳と、コンゴ（民）東部の治安状況に対処するためのナイロビプロセスおよびルアンダプロセスを議論する会合に出席。
- 17日、ムケシマナ農業大臣と IFAD のラリオ会長は、イタリアのローマで、ルワンダ政府と IFAD（国際農業開発基金）の間の 6289 万米ドルの融資協定に署名。
- 18日、カガメ大統領は、エチオピアのアリ首相、欧州連合（EU）のチャミシェル理事長、ポルトガルのコスタ首相と、エチオピアで行われているアフリカ連合首脳会議第36回通常総会の傍ら会談した。
- 21日、国際通貨基金（IMF）リー副専務理事がキガリを訪問、ンダギジマナ財務・経済計画大臣と中央銀行総裁とルワンダの気候返送資金の規模拡大に関して議論。（The New Times）
- 21日、カガメ大統領、ムニユザ警察署長とバインガナ防衛大臣を解任。（ChimpReports）
- 22日、ビルタ外務・国際協力大臣は、ヨルダン・ハシミテ王国のサファディ副首相兼外務大臣と二国間会合を持ち、政治協議、高等教育、査証免除の3つの協力協定が締結された。
- 23日、駐ルワンダ日本国大使は天皇陛下の誕生日祝賀セレモニーを開催。
- 24日、ンダギジマナ財務・経済計画大臣は、スイス開発協力庁のサハラ以南アフリカ部門長と、ルワンダとスイス間の協力強化について会談し、国家変革戦略によって設定された変革的ガバナンスの目標を強化するためのルワンダ政府の取り組みを支援するための覚書に署名。
- 26日、ECCAS（中央アフリカ諸国経済共同体）の首脳は、コンゴ民主共和国（DRC）キンシャサにて会合を開き、コンゴ（民）とルワンダに対し、平和的手段による紛争解決を促した。
- 28日、第69回 ACI アフリカ理事会および委員会会合、地域会議がキガリにて開催。
- 28日、ンギレンテ首相は、27、28日に開催された第18回全国国民対話会議にて、農業、インフラ、貿易、保健など様々な分野における政府の主要な成果を発表。

2. 開発協力

- 9日、欧州連合（EU）は、国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）とルワンダ政府が運営するルワンダの緊急輸送メカニズム（ETM）に対して、2200万ユーロの支援パッケージを発表。
- 11日、リビアから避難してきた亡命希望者を受け入れるための国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）および欧州連合（EU）との4年間のパートナーシップを更新。（Xinhua）
- 13日、インガビレ ICT・イノベーション大臣は、中国輸出入銀行と世界銀行からの資金提供により、インターネットに接続されていない約3000校が2024年までに接続できるようになると述べた。
- 15日、国連世界食糧計画（WFP）は、世界的な食料・エネルギー価格の上昇を受け、ルワンダ全土の5キャンプにいる難民の基本的ニーズを満たすために、食料支援を43%増額。
- 16日、福島駐ルワンダ日本国大使は、ルワンダで活動する日本のNGO、CORE（コミュニティ・ロード・エンパワーメント）を通して農村道路の整備事業のため32万米ドルの支援に署名。

3. 経済

- 6日、先週閣議決定された「グリーン成長・気候レジリエンス戦略（GGCRS）」によると2050年までに交通分野の近代化と緑化に130億ドルの資金を動員することが決定された。（The New Times）
- 8日、ンダギジマナ財務・経済計画大臣は2022/2023年補正予算を国会に提出。今回の予算修正案により、政府支出は、2022年6月の当初予算4兆6584億フランから1064億フラン、2.3%増の4兆7648億フランに増加。
- 9日、ルワンダ国立銀行（NBR）と財務・経済計画省によると、2022年1月から11月にかけて、ルワンダの鉱物の輸出額は前年比52.3%増の6億8300万ドル（約7400億ルワンダ）となった。（The New Times）
- 13日、キガリコンベンションセンターで2日間の第3回世界コーヒー生産者フォーラム（WCPF 2023）が開催された。
- 14日、国家農業輸出開発委員会（NAEB）によると、ルワンダの2022年農産物輸出収益は、2021年同期の5億4310万ドル（約5918億ルワンダ）から45%増加し、7億8870万ドル（約8595億ルワンダ）を超えた。（The New Times）
- 22日、ルワンダ経済アップデート（REU）レポート第20版によると、ルワンダ経済は、世界的な逆風や食料価格の上昇にもかかわらず、2022年最初の3四半期に8.4%成長。

- 27日、第5回人口・住宅センサスによると、ルワンダの人口は1,324万6,364人で、331万2743世帯、平均寿命は69.6歳。

以上